

IGF 2023 に向けた国内 IGF 活動活発化チーム

第 60 回会合 発言録

2025 年 3 月 17 日

加藤： それでは定刻になりましたので、第 60 回目の活発化チーム会議を開催させていただきたいと思
います。今日は 6 時から引き続き第 2 回の勉強会ということで、よろしく願いいたします。

まず最初に総務省の方がご参加いただいておりますら、ぜひ最近のアップデートをお願いしたいと思
いますが、いかがでしょうか。

宮本： お世話になっております。総務省の宮本です。音声届いておりますでしょうか。

加藤： はい届いております。

宮本： よろしく願いいたします。

つい先週ですね、こちらの会合に参加されていた方もいらっしゃるかと思うんですけれども、ICANN 会合
がシアトルでございまして、総務省の方からも私とあと荻原さんが出席をしてきたところでございます。

主に総務省の方では DNS Abuse 関係のセッションを持っておりますのでそちらの方で議論いたしまして、
今後レジストラ等も含めて DNS Abuse 対策をいろいろと意見交換とか、引き続き対策していきましよう
というような話があったところでございます。

WSIS+20 等の関係についてもお話がありまして、そちらについては特に荒れることもなくといたしますか、
マルチステークホルダーのアプローチの重要性を ICANN 各関係者で示していくことが重要ですよ、意見
交換していくことが大事ですよというふうな話があったところです。

手短ではございますが以上でございます。

加藤： 宮本さんありがとうございます。

ご参加の方、宮本様並びに総務省様へのご質問とございますでしょうか。特にございませんか。もしあれば後でも結構です。ご質問をお願いしたいと思います

それでは次に MAG の状況なんですけれども、私が一言だけ申し上げますと、この活発化チーム前回 59 回目は 2 月の 10 日、1 ヶ月余り前にやりましたけれども、その後 MAG に関しては 2 回正式会議を行いました。

2 月の 14 日に MAG とリーダーシップパネルですね、IGF のリーダーシップパネルが意見交換をするという会がありまして、その後 2 月の 25 日に MAG のリモートでの会議がありました。

ご承知だと思いますが、次回 MAG 会議は 4 月 14 日から 16 日でジュネーブでの会合が決まっておりますけれども、その前に実は明日 3 月 18 日次の MAG 会議がございますが、今日は今申し上げた 2 つの会合のご報告ということになります。

ずっと参加していただいた河内さんの方から具体的な議事録をご覧いただきながらご報告させていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

河内： 資料を共有させていただければと思います。大丈夫でしょうか。

加藤： はい。LP を見て日付ごとにできますか。

河内： LP リーダーシップパネルとの会合の報告を先にしますか？ 順番としてこれが 2 月 14 日、そちらからします。映っているでしょうか。

加藤： ちょっと大きくしてもらっていいですか。

河内： 2 月 14 日の夜、日本時間の夜に MAG とリーダーシップパネルですね。Vint Cerf が議長をやっているリーダーシップパネルとの意見交換会がありました。

参加者ですけれども、MAG メンバーとか過去の MAG メンバーとかオブザーバーとしていろんな人が参加してまして 64 名ぐらい参加していました。

一応アジェンダは最初にあったんですけども、Vint Cerf が最初から会議をあまりアジェンダにとらわれずに進化したという感じですか。

まず WSIS+20 に向けた今年の MAG とリーダーシップパネルの活動内容についてですけども、昨年末に MAG の Strategy Working Group ですね、戦略ワーキンググループが、IGF が今後どうあるべきというビジョンドキュメントというのを発表していますけれども、今年はその WSIS+20 が 12 月に最終的に行われるということで、それまでにいかに IGF が重要かというのを示していくために何をしていくべきかということについて議論が行われました。

1 つは結局国連で決められることなので、国連加盟国が決定者であるので、ただ NRI は世界各国、多くの地域にあるので、国連の加盟国の政府と NRI をうまくつなげて NRI がその国でどのような活動をしていてどんな効果があるのかとかいうことを政府に理解してもらうことによって、IGF とか NRI が重要なことをやってるんだっていうのを理解してもらったらどうかとか、それからちょっと飛びますけど、これまでに IGF がどんなことを 20 年間どんなことをやってきたかっていうのをよく示すべきであるとか、そういうことを示していったらどうかと。

また、昨年末に戦略 WG が作成したビジョンドキュメントを元にしてというかそれを参考にして、リーダーシップパネルでも 6 月の IGF のノルウェーでの IGF までに WSIS+20 に対するリーダーシップパネルとしてのメッセージを作りたいと言って、それをもとに年末の WSIS+20 の最終会議までに IGF が重要だというメッセージを広く提唱していきたいということを Vint Cerf が言っていました。

加藤： その場合のところでパリの AI サミットで河内さんが書いていただいた通りですね。IGF がいろいろな問題を議論する場として重要だということが AI サミットの中でも取り上げられたということが非常に重要なポイントじゃないかというのが、何人かから指摘がありました。

河内： それから WSIS+20 の事務局を担当している UN DESA のデニス・スザールさんが参加してまして、今年の予定として共同進行役がリトアニアとケニアの方が任命されてますけれども、3 月末までに何回かインターネットで打ち合わせをして 3 月末までにモダリティについて最終決定すると、そういう予定だということを言っていました。

これまでのサンパウロマルチステークホルダーガイドラインとか、2003 年と 2005 年の WSIS の時の文書とか、この 20 年間の IGF の文書などその辺を共同進行役に提供して検討してもらっているとのことでした。

それからあともう一つ出た大きな話題として、資金調達の話が出たんですけども、もうちょっと安定的な運営を IGF がする上で、資金調達についてももうちょっと何とかするべきじゃないかという意見があって、やっぱり民間企業は安定したオンライン環境とか安全性とかセキュリティを確保することが非常に重要なので、IGF とか NRI がそのためにどんな貢献ができるのかということを確認に示すことによって、民間部門に資金を貢献してもらおうようにしてもらったらどうかという意見がありました。

ちなみに Vint Cerf が言っていたのは、Google は今年 2025 年に IGF 事務局に 50 万ドルを貢献してくれるはずだと言っていました。

あとは今後なんですけれども、この MAG とリーダーシップパネルで例えば UN Tech Envoy ですね、国連の技術特使のアマンディーブ氏とか、あと今年新設された国連の Office for Digital and Emerging Technologies (ODET)ともその意見交換を3月、4月にしてはどうかという提案がありました。やはり IGF が GDC の実行を支援して影響を与える存在にならないと、GDC の実行はうまくいかないということをよく説明して分かってもらうというのが一番いい策ではないかと Vint Cerf がまとめていました。

それがリーダーシップパネルとのミーティングで、次に行きます。いいですかね。

2月25日ですけど、リモート会議としては2回目ですかね。1月1日で2回目ですかね。MAG のリモート会議が行われました。リモート会議としては、今回はですね、2月の初めに行われた、1回目のバーチャルで行われた公開諮問会議と MAG 会議の時にもう IGF のホスト国からはもうすでに準備状況が説明されていて特に大きなアップデートはないということでした。ただ今いろんな人を招待しているところで、今年はやはりハイレベルな政府関係者を多く招待してはどうかということで、それをやっている中でどういうセッションをノルウェーの IGF ですべきかという意見交換が行われました。

一部にはクローズドな政府トラックみたいなのを作ったらどうかという意見もあったみたいなんですけども、これは政府関係者だけが入れられるようなクローズドなものではなくて、全てのステークホルダーが参加して、多くの政府関係者が参加して意見交換をするような場であるべきという意見がありました。事務局からもクローズドな政府トラックのようなものを設けるような計画は今はないとの報告がありました。

それから、あと事務局からの連絡事項としては、先ほど加藤さんがおっしゃっていた4月14日から16日の第2回目の公開諮問会議と MAG 会議の登録を始めているということと、6月のノルウェーの IGF へのトラベルサポートの申請件数が800件以上になっているということ、それから2月25日時点でのセッションの提案数がいくつか全然少ない数で出てますけども、これ昨日の、昨日というか今朝っていうか昨日の夜締め切りでしたけれども、最終的には何件になったかは多分明日の夜の MAG 会議で発表されることになると思います。

あとは定例なんですけれども、ポリシーネットワークとかベストプラクティスフォーラムとかの今年の予定とか計画についてそれぞれ報告がありました。あと Dynamic Coalition (DC)ですね。DC たくさんあるんですけど、全部の DC が発表の機会がなかなか最近セッションが少なくて出ないので、今年はサブテーマごとに DC を 4 つにグループ分けしたと。そうするとほぼ均等に分かれたということで、そのグループごとにセッションを行ってはどうかという意見がありました。

それからあとワーキンググループですけども、ワーキンググループもそれぞれ報告がありまして、特にストラテジーですね。戦略ワーキンググループですけども、今年はここに書いてある 1 から 6 の 6 つの小グループに分かれてそれぞれ責任者を決めて活動を進めていくということで報告がありました。

それからあとユースエンゲージメントです。若い人をなるべく活動に取り込むような

ワーキンググループですけども、ワークショップを 2 月 26 日に開催予定ということ報告していました。

あとは、昨日がセッションの提案の申し込みの締め切りだったのでそれを受けて、明日の MAG 会議で色々話があると思うんですけども、セッションの評価プロセスです。MAG はワークショップの評価をするのでワークショップの評価プロセスについて去年のものをもとにそのままその状態でいいかとかいうところについて色々細かく議論がありました。去年から変わったところとかも、いくつか改善したところもあるということで説明がありました。明日は多分細かく説明が行われると思います。

予定としてはおそらくこれまでの例でいくと、今申し込みがあったのを事務局がシステム的に今整理してテーマ別に分けてそれを何件あるかによるんですけど、MAG 全員で手分けして評価するという、まずいついつまで評価をしてくださいというふうに依頼が来て、それが終わったら今度そのテーマのグループごとにグループ内でその結果をもとにその結果でいいかどうかというのを話し合っ、それが終わってから 4 月の 14 日から 16 日の対面会議になると思うのであと 3 週間の間にそれ全部やるのは本当大変だと思います。

次回の会議は多分 11 から 18 に変更になったんです。多分締め切りはもう 16 に伸ばすという予定で 18 に変更するつもりだったのかなと思います。

ということでそんなところです。

加藤：ありがとうございます。

あまり付け加えることはないんですけども、最初のリーダーシップパネルとのミーティングでも、我々が今やっているような NRI の活動が非常に重要で、各国政府と連携しながら意見形成をしている、これが

IGF の特徴だということもリーダーシップパネルからも強調されて、そういうことが 6 月の意見書なんかにも盛り込まれていくんじゃないかというふうに思います。

それから MAG の中にいくつかワーキンググループがあるわけですが、特にストラテジーグループが意見書を昨年末もまとめて、今またそれをアップデートするというものをまとめているわけですが、ワーキンググループの中にさらにタスクグループを 5 つほどに分けて、それぞれのボランティアがそれぞれの検討を進めるということで、最終的にはやはり 6 月のノルウェーでペーパーを出して皆さんに議論していくような形にします。という予定になっています。

という意味で MAG の活動が単にワークショップの選定とかそれ以外のところでいろんなことをやっていますというのを、私は久しぶりに MAG に選んでいただいて参加させていただいておりますが、随分そういう意味で IGF のオーガニゼーションも進化しているなというふうに感じました。

繰り返しになりますが、今回は明日の夜やりますのでまた少し先になりますが、そういうものもまとめてご報告させていただきたいというふうに思います。

ということで MAG の活動について何かご質問ございますでしょうか。ございませんか？

もしあればまた後にでもよろしくお願いします。

それではもともとのアジェンダに戻りまして MAG の次は NRI のアップデートでしょうかね。これは山崎さんからお願いできますでしょうか。

山崎： ちょっとお待ちください。では山崎から報告します。

第 2 回の報告ですが、ちょっと前になりますが 2 月 28 日日本時間の深夜に開催されました。参加者数は最大 64 名、日本からは加藤さん河内さんと山崎で参加しました。

主な目的は、今年の 6 月にノルウェーで開催される IGF に向けた NRI セッションのテーマの確定および会議の運営課題について議論することが目的となっています。

セッションテーマですが、NRI にアンケートを取りまして以下の 4 つが順番に参加者数が多いということになりました。

2 番目と 3 番目は同じ票数だったということと、あと一部は統合できるのではないかという意見もありました。1 番目が普遍的アクセスとデジタルの権利で、デジタルの信頼性とレジリエンス、デジタルの協力、持続可能で責任あるイノベーション、この 4 つですね。最終的にこの 4 つに絞るということで、さらに意見を NRI に対して調査するということになりました。

意見としては WSIS プラス 20 です、それとグローバルデジタルコンパクト、それと SDGs です。これとの関連性を考慮する必要があるのではないかという意見が出ていました。

2 番目ですけれども、IGF 2025 が 6 月にノルウェーで開催されますけれども、このスケジュールをどういう風にするかということで、全ての NRI の会議を 1 日でやる NRI Day というのをやってはどうかという提案があったんですが、分散させた方がよいという意見の方が多かったように思う。ただ NRI Day にするかどうか検討する価値もあるという意見もありました。

メインの会議場については、テーマ別の日程にするという提案もあるということだそうです。今後開催国ノルウェーから詳細な情報を受け取った後に最終的に決定される予定となっています。

今年の IGF は、セッション数、あと会場の制約等があるということも踏まえると NRI のセッションのうち一つですかね、これを 60 分に短縮することも検討すべきであるという意見もありました。

3 番目ですね。WSIS+20 レビューへの NRI の貢献ということで、これは北アフリカの NRI の方ですけれども、貢献について提案があって、実質的な行動につながる提言を行うべきで、各国地域の NRI がどのように WSIS アクションライン、これは 2003 年と 2005 年の WSIS のときに決められた 11 の課題のリストですけれども、これの実施を評価するか、改善点を提案するかなどを検討する必要があるということで、NRI の立場をまとめるためワーキンググループを設立する方向で議論が進められたということです。

今後の進め方としては、セッションのテーマを確定するために NRI のメンバーについてアンケートを実施しました。

テーマごとのワーキンググループを設立して検討し、WSIS+20 のレビューへの NRI への貢献方法を確定して関連するフォーラムへ提言するということです。引き続き意見を集約しながら準備を進めるということで、WSIS+20 レビューへの NRI の貢献ということで、この中心的な役割を担っている Ben Jemaa 氏からのレターということで簡単に紹介しますけれども、WSIS+20 のロードマップ中で集団的に関与する可能性があるので、次の段階として NRI コーディネーターによるチェックを行うことができるようになっています。

他に、地域バランスを取ったワーキンググループを設立することができるという考えも示されました。

私からはそんなところですが、加藤さん、河内さん何か補足がありますか。

加藤： 私は特にはないです。

先ほど NRI の関連でメールが来ていましたけれども、先ほど政府トラックというのを特には設けないけれども、政府の高官をお呼びすることを事務局が考えているという話が MAG の中でもあったと思いますが、それに合わせて議員トラックについて各国の議会関係者に声をかけているという話が別にメールでありました。

これはもし宮本様とか政府関係の方で、何か補足をいただくことがあればと思いますが、そういう連絡を政府間では今やり取りをしていますので、そういう連絡をしているというようなお話があったと思いますが、まだ少し先の話でどういう対応をするか、いろんところでまだ決めていない段階かもしれませんが、そういう話もありました。

参加されている皆様から特にご質問等はありませんか。

宮本： 総務省の宮本です。

今ちょっとお話しいただきましたけれど、ごめんなさい私の方の部局、データ通信課の方でこちらを担当しておりません。担当している飯田さんのチームになるんですけどそちら今ちょっと今日は参加できていないようですので、また何かアップデートがありましたら共有させていただきます。申し訳ございません。

加藤： ありがとうございます。

おそらく各国の政府のご担当の方には連絡が行っているということでございました。よろしく申し上げます。

それでは、MAG・NRI についてご質問がなければアジェンダのその他の会議等で、先ほど宮本様からは ICANN のご報告をいただいたんですが、それ以外何か動きございますでしょうか。何かシェアしていただくことがあればこの時点でお願ひしたいと思います。

今松平さんからチャットにご紹介がありましたが、これを...

松平： 松平です。チャットに URL を貼り付けてるんですけども、実は今週 IETF (Internet Engineering Task Force) の会議が開催されていまして、IAB (Internet Architecture Board) のミーティングで WSIS+20 が

取り上げられるようですので、情報を共有しておこうと思いました。スライドが出てますのでご覧いただけるかと思います。

日本時間だと明日の夕方ぐらいですので確か明日の夜間にあるかというお話がさっきございましたけれども、何かそういう流れに乗ってるのかなっていう風にちょっと感じました。以上です。

加藤： どうもありがとうございます。

山崎： IETF は確か今回はタイのバンコクで開催されており、時差は 2 時間ですので日本からは参加しやすくないかと思います。

加藤： 2 時間ということは、日本は夜 7 時半ですか。17 時 30 分、そういうことですね。ありがとうございます。他、何かシェアしていただくこととかございますでしょうか。よろしいですか。

それでは河内さんの方から次の勉強会、これは山崎さんにお伺いがいいんですかね。今日はもう予定していただいています、次回のテーマについて山崎さんの方でもご提案いただいておりますので、一言でもお話しただければと思います。

山崎： では山崎からお話しさせていただきます。

次回 4 月の勉強会についてですが、先月になるんですかね、2 月末に台湾で開催された RightsCon という会議がありましてその報告を行っていただく予定です。お話しいただく方とか詳細はまだ調整中ですので、確定次第お知らせするようにいたします。

その後次の月も必要でしたら、主に技術ネタになると思うんですけれども報告できる予定です。山崎からは以上です。

加藤： どうもありがとうございます。

この勉強会もいろいろ違った分野で情報交換ができるということが一つ目的で、最初 2 つ少し政策的なことがありましたのでもう少し技術寄りの話をお考えいただくということで、今のようなご提案をいただきました。

今度のライツコンのご報告に加えてまたその次ですね、5月か6月もそういう分野になるかもしれませんが、またそれ以外にもですね、ご提案いただく方があればぜひお願いしたいというふうに思います。

4月については、スピーカーの方並びに日程がだいたい決まってくればなるべく早くご案内させていただきたいに思っております。

それでは今後の勉強会についてはそういうことですね。今後のスケジュール、国内事前会合の進め方、これは山崎さんどれぐらい今日議論しましょうか。

山崎： では長くかからないと思うんですけど、ちょっとおさらいで。前々回の1月の活発化チーム会合で2025年度は3回やるということになりました。まず6月のIGFより前に軽量級の意見をまとめる会を開催し、IGFは6月に終わっていますので、7月のWSIS+20フォーラムの後にIGF報告会を開催する。そして秋に通常のフォーマットで開催するという3段構えに決まりました。

直近の6月もしくは5月に軽量級の意見をまとめる会が開催をするわけですけども、その進め方をご相談したいということ。

これまで、この活発化チームでイベントをやっていた時はテーマを公募したときが多かったです。毎回ではなかったですけども。今回は意見をまとめる会ですね。テーマというよりは、この議論というふうにするべきかということ、ちょっとご相談したいかなと思います。

テーマを募集する場合には、セッションを公募すべきかということが2点目。ご相談したいことが2項目になりますけれども、いかがでしょうか。皆さんご意見あればぜひお願いしたいんですけども。

加藤： これは6月のノルウェーのIGFの少し前ですね。1ヶ月くらい前がよろしいんでしょうかね。そういうイメージですよ。

山崎： そうですね。1ヶ月前だと理想というところが、ちょっとずれ込んでギリギリになるかもしれないですけど6月23日前の1週間というのは厳しいので、2週間くらいは間を空けたいと。その頃にどれくらいの時間を取るかということはあるんですけども。

加藤： 2、3時間のイメージですか。

山崎： 内容次第で、内容がたくさん出てくれば、まる 1 日やってもいいと思いますけれども、複数の日にまたがってやるという感じではないかなと今のところ想定しています。

加藤： そうですね。

山崎： 立石さん手を挙げていらっしゃるんで。

加藤： 立石さんお願いいたします。

立石： はい。事前会合でやるべきかどうかちょっと迷ってはいるんですが、ちょっと嫌な予感をしているテーマがありまして。

ご存じだしもう言ってもいいと思うんですが、オンラインカジノの問題です。ちょっとテレビを最近見ないのでよく分からないんですが、かなり多くの方が問題になっているようで、おそらく近々検討会もできると思います。かなり政治家の方からプレッシャーがかかっているということは政治家自身からも伝えてこられているのと、海賊版サイト問題の時、あるいはその以前の児童ポルノブロッキングの時並みにその当時絡め取られた人たちから実はもうすでにお互いにいろんな情報交換が始まってまして、6月のノルウェーの時にどうかという話までできないし、ノルウェーの IGF のセッションにもしたいなと思ったらちょっと早すぎて、さすがにそこまではできなかつたんですけども、他の国の事情とかを知るためにもノルウェーまで行ってその辺の情報収集という形をせざるを得ないかなと思っているんですけど。おそらく連休前ぐらいからは動きが出ると思いますので、5月だとその辺ですね。

これも本当にジャストアイデアなんで、どういう形でやるべきとか、さっきのどれ位の時間でやるべきかみたいな話は全くアイデアは持ってはいないんですけど、やったほうがいいのかなど。

そういう意味では、ネット上の違法有害情報でもう一個私が関わっているのは、生成 AI による児童ポルノなんですね。今もう児童ポルノって言っちゃうと怒られるんですけど、日本の場合は児童ポルノ法という法律になってますからあれですけど。CSAM (Child Sexual Abuse Material) という言い方をしていますが、生成 AI による CSAM の問題とかっていうのも、ここも微妙に国会議員たちも動きざわめき始めているので、ネット上の違法有害情報を全体的にちょっと考えなきゃいけないのかなと。

今としては、この CSAM 問題とマスコミがそのうち騒ぐだろうと思うオンラインカジノに関して、情報提供というか、あるいは基本となる考え方とか、基本となる考え方も通常の秘密なんですけど、それをちょっとできるものであれば、関係者だけでももう一回おさらいしておいたほうがいいのかな、というふうな感じがしています。

あまり具体的じゃないんですけど、ネタとしてはそういうものはわかってるということを情報提供代わりにお話しさせていただきました。以上です。よろしくお願いします。

加藤：ありがとうございます。他の方、ご意見とかご質問ございますか。

案件としてオンラインカジノ、それから CSAM の二つの 이슈ーについてご紹介いただいたり、簡単に意見をまとめていただくなり、意見交換をしていただく、そういうことかと思います。

もしそういうようなテーマがいくつか集まれば、半日の意見調整の会というのができるということで、それでは日程やその規模は引き続き検討するということですけど、今のような形で 6 月前半か場合によっては 5 月末ぐらいにそういう会をやるということではいかがでしょうか。

これについては、通常のテーマ募集とか選考とかっていうのをしない感じで、軽量級っていうのはそういう意味でよろしいのでしょうか。

山崎：もともと 1 月の時、そのプロセスまで議論しなかったと思いますが、全くただ募集しないとチャンス逃してしまう恐れもあるんで、少なくとも軽量級とはいえ、その議論のテーマについては、テーマというか議論のネタについて簡単に募集をすると、そういう風にしたいと思うんです。出てこなかったらこちらで考えて用意するとかいうことも最悪やらなきゃいけないかもしれませんが、なるべく今のように参加者からご提案いただいた方が良くかなと思います。

加藤：ありがとうございます。それでは選考については状況を見てですけども、募集は早々に行うと。そういうことを計画して募集を行うということで、皆さんいかがでしょうか。何かご意見ございますか。

ちなみにもう申込は締め切りになりましたが、今回 IGF のセッションに応募された方はございますか？

はい、河内さん、もしよろしければ一言どんなことかっていうのをお願いできれば。

河内： この後立石さんにお話しいただくジオグラフィック TLD ですね。ドット京都とかのような地名のトップレベルドメインですね。これがいかにインターネットガバナンスの普及とか、コミュニティに根ざした活動につながるかっていうところを議論するセッションで、立石さんにもご参加いただくようお願いしています。

ちなみにワークショップじゃなくて Day 0 セッションです。そっちの方がハードルが低かったのです。

加藤： 分かりました。ありがとうございます。

そういう意味では、先ほどの軽量級の事前会合でも、簡単にもし採用されればご報告いただくということになるかもしれないですね。別に採用されなくても、そういう議論を今後もやろうということでも構わないです。IGF ノルウェーに漏れたとしても、APrIGF とかいろいろな機会が続きますので、そういう課題をご指摘いただくのは重要なことだと思います。

立石： そういう意味では、今、河内さんにご紹介いただいたようにドメイン名関係、

一応私も名前を入れていただいたのと、もう一つはドメイン名の終活、終わる方の終活。ご存じのように結構いろんなところで使い捨てのドメイン名が問題になってるんですね。徳島県もいくつかやっちゃってニュースになって、県知事が出てきて怒ってたんですけど、いやいやそれは筋違いだろうと思ってまして、東京都の GoToEat でも問題になりましたけど、特に地方公共団体が使ったドメイン名を2、3年使って捨てちゃってそれをドロップキャッチされたもので悪用されると。エロサイトに誘導されるぐらいだといいんですけど、結構フィッシングサイトになったりとか、個人情報抜かれたりするということが起きているので、その辺のドメイン名の終活という、英語でどう言おうかなと思ったんですけど、それをライトニングトークで応募しました。

それともう一点は、このところ日本ではひどいんですけど、選挙で SNS がひどいです、ということになってますけど、さすがに選挙とかそこまで行かないんですが、ちょっと古い話で EC サイトとかでダークパターン、特にダークパターン協会なんてのもできてますけど、そっち系の話をどうにか、ダークパターンと偽情報とか誤情報の対策ができないのかということで、今年の国内 IGF の際お話しさせていただいたウェブの信頼性評価ということで、ウェブに対する一定の審査をやるという取り組みをやってますので、その中でその件について、これもなんとか出したいと思うんで、Day 0、河内さんが多分こっちの方がいいんじゃないかという話だったんで、私も Day 0 とライトニングトークで一個ずつ、私がモデレーターということで申請を2つ出しているという状況です。

以上です。

加藤： どうもありがとうございます。結構たくさんになってきたので、これは半日で収まるか。要するに何かお話を聞かせていただきたいと思いますが、先ほどの軽量級の事前会合の募集をしていただいて、こういうテーマを挙げていただくということになると思います。

他いかがでしょうか。

加藤： ありがとうございます。宮本様お願いします

宮本： お世話になります。総務省の宮本です。

先ほどの gTLD の話がちょっと出てきたんで、先日の ICANN でも少し話題になったので共有させていただきますと、このセッションの一つで geoTLD グループという gTLD 関係の情報交換をしているグループの方から情報の共有というか、交流するセッションがありまして、そちらの方から、特に次回の新 gTLD 募集の話です。

2026 年 4 月からスタートですけれども、そこで各国の中で geoTLD の申請をしていくという話があれば、政府としてもサポートレターとかノーオブジェクションレターみたいなものを出すことになりますので、そのあたり国内でも是非情報共有をしてくださいという話がありましたので、こちらでも共有をさせていただきます。

以上でございます。

加藤： どうも宮本さんありがとうございました。

他いかがでしょうか。是非思いついてこれはというようなことがあれば、もうセッション提案のタイミングが一応終了したと思いますが、こういう事前会合で何か検討する話題があればお願いしたいと思います。

先ほどのオンラインカジノなんていうのはその時期かなりホットになってるかもしれませんので、そういう話題もよろしいかと思います。

それでは時間が押してまいりましたので次の議題ですが、本チームの名称についてです。いろんなところで、もう 2023 年の IGF 会議のための国内 IGF 活動活発化チームという長い名前がもう不適當なんじゃないかというご指摘を受けておまして、いろいろな方々から、もう最初の 2023 年という部分を外したらどうかというご意見をいただいております。

一つの案が、少し短くして国内 IGF 活動活発化チームという風に今後は呼ばせていただくという案が出ておりますが、何かこの名称についてご意見・ご提案等ございましたらお願いしたいと思います。今日この場で決めるということではなくて、今日のディスカッションを受けて、一定期間皆様から意見を募集して、最終的に異論がなければそれで決定をするというプロセスにさせていただきたいという風に思っています。いかがでしょうか。何かもつとこの際、良い名前があるとかいうことがあれば、ぜひご提案いただければと思います。

しばらく議論してというより、通常のこのチームのプロセスに従って決定するというので、今日そういう提案があってこの中でほぼ意見がまとまればですね、それをベースにコメントいただくプロセスで決めるということでございます。

山崎： 立石さんから手が挙がっています。

加藤： 立石さんお願いします。

立石： 私は今おっしゃってた、その 2023 を取ったこの今書いていただいている、国内 IGF 活動活発化チームで特に異論はございません。それでいいのではないかなと思います。以上です。

加藤： ありがとうございます。他いかがでしょうか。

ここにいらっしゃらない方でいつもずっとこのチーム活動を支えていただいた方々も多いと思いますので、改めて今日の議事録ベースで皆様方のご意見を賜りたいと思っています。いかがでしょうか

もし今ご異論なければ、一応今日のチーム会合ではこれでどうかということが決まったということで、議事録の方させていただいてあと通常の 7 日プラス 7 日ですか、ルールでご承認をいただくというプロセスにさせていただきたいと思います。もし別の案が出てくれば、もちろんそれに別でさらに検討させていただくということになると思います。

それでは今日予定させていただいたアジェンダはこういうような内容ですが、次回の会合ですね、いつもルールはあれですけども、今日ここに開催候補は4月14日というふうに書いていただいたんですが、実はちょっと私の都合といいますか、次回4月14日からMAG会合がジュネーブでありまして、それに当たりますので、タイミング的にもその準備でMAGでいろんなことがあるかもしれないということからすると、4月の7日の週にさせていただくと大変ありがたいんですが。

山崎：勉強会の次の方の希望だと21日なんですね。

加藤： そうなんですね。もし皆様良ければ、この活発化チームの会合としては4月21日の月曜日に先ほどのRightsConのご報告と合わせてやっていただくということでいかがでしょうか。4月21日の月曜日、ご都合が悪いとか何か別の大きな会議に当たっているとかそういうことはございませんでしょうか。

それでは次回は4月21日月曜日に開催して、MAGについてもそのときまとめてご報告できるように準備したいと思っております。

ということで一応今日の議題はこれまでなんですけれども、何かご質問ご意見並びにこれを言い残したということはございますでしょうか。

今この活発化チームの会場に、この6時からの勉強会のご参加の方も何人か入っていただいております。ということで、もしこの場でよろしければこの活発化チームの通常の連絡会はここで開きにさせていただきますというふうに思います。

よろしいでしょうか。

それでは、皆さんありがとうございました。次回は4月21日ということでお願いしたいと思います。引き続き6時から勉強会の方を開催させていただきます。このままぜひとも残っていただいて勉強会にも参加いただければと思います。

どうもありがとうございました。